

人は環境をつくり
環境が人をつくる
キーワードは
MOH (もおっ)

M → もったいない
他の生命を奪って得たものを使わせて頂く

O → おかげさま
人は一人では生きられない、環境によって生かされている

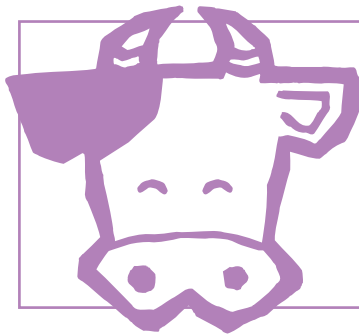
H → ほどほどに
欲はほどほどに、良き環境を作り上げるために

も お

M.O.H

通信

4号
2004
December



「M.O.H」のマーク = 牛

牛は環境の象徴ともいえます。牛糞はメタンガスになり、肥料にもなります。大地を作り、食物を育て、生物を養います。私たちは命の源ともいえる、牛を「MOH」のマークとし、循環型社会の象徴とします

目次

<特集>デンマークに学ぶ

- 「文化・人・美観・社会感動したホームステイ」
湖北町中学校…………… 1,2
- 「デンマークに学ぶ循環型社会の姿」
ピーター デイビット ピーターゼン… 3,4
- 「未来への示唆」
末永 國紀…………… 5
- 講演日記…………… 6
- 本田先生の倫理学講座
本田 裕志…………… 7,8
- むだいずむ(4コマ漫画)
しみず やすお…………… 8
- 大人の味を知った日
今関 信子…………… 9,10
- 小学を学ぼう
井上 昌幸…………… 11
- 家訓を作ろう
野洲市生活学校…………… 12
- 真の改革のキーマンは誰か
森 建司…………… 13,14
- ちょっと一服 MOHの窓
辻村 耕司…………… 14

投稿コーナー

皆様からの投稿をご紹介します。(敬称は略します)

最近心がけている事をあげます。
『悩むのではなく、考えよう』
『おはようの代わりに、今日もよろしくお願ひします』(これは母さんに対してです)

近江八幡市 中川 豊一 50歳

失敗は終わりではない、その失敗を反省し、成功に結びつけばよい

茨木市 池田昭夫 63歳

「本気なんや」とわかると人はついてくる

高島郡 山内敬 56歳

腹八分目医者要らず!

高槻市 森 佐佐貴 71歳

執着を断つ事によって智慧が生じる

大津市 廣脇正機 44歳

一日でも早く省エネ社会を立ち上げねばならないのに、政治も産業界社会もまた一般市民も相変わらず景気ばかりを唱えています。MOHに入会

して勉強したいと考えています。

京田辺市 山下隆男 79歳

MOH通信を拝見して大変面白いなつくりで驚いています。デザインも、やさしい、じっくりになっていると感じました。生意気申せば、こういった仕事はまさに「継続は力」と存じます。今後の活躍を心よりお祈り申し上げます。

東京都 MOKU出版
編集人 山口陽一

「収入半分・支出半分・幸福倍増」
「意識を変えないと、社会を変えられない」
栗東市 今戸正子 59歳

「仕事は楽しくなくっちゃ」
「何事も真剣に」
愛知郡 村山明子 45歳

「咲く花は 咲くが如くに 写れども匂つが如く 写らぬが如くに」
渋谷区立松涛美術館にて、生誕百年安井仲治―写真のすべて―安井仲治の言葉より

野洲市 辻村耕司 47歳

『自然現象に象徴された、人の心は、を表現しているのだ』
安井仲治作品「雪月花」について書かれた書簡より

野洲市 辻村 琴美 47歳

皆さんの心あふれる一言ありがとうございます。次回もお待ちしています。

デンマークに学ぶ…1 文化・人・美観・社会、感動したホームステイ

滋賀県湖北町立湖北中学校

●第5回湖北中学生国外派遣事業

●2004年8月18日～8月27日



ホームステイ先の子どもたちと学校の体育館前で



レゴランドへ行くバスの中



ディアナランド郊外の農業公園にて

デンマークの思い出

橘 博之

デンマークで一番印象に残った事は日本とちがって、学校がとても自由な感じでした。授業も話し合いや、教え合いの学習が多く、日本とかなり違ってました。

二番目に、印象に残った事は、食事です。うす味というモノがなく、しょっぱいものもとてもしょっぱく、甘いものはとても甘く、中間というものがありませんでした。しかし、酪農国だけあって、ハムやチーズがとてもおいしかったです。ハムのオープンサンドは格別でした。

三番目に、印象に残った事はレゴランドです。レゴで作られている町並はともきれいでした。お土産に、たくさんレゴを買いました。感じる物、全てが新鮮でした。

最後に女性がみんな美人なのが印象的でした

デンマークに行つて

八田 美由紀

私は、デンマークで初めてホームステイを体験しました。初めは不安だったけど、ホストファミリーの方はとても優しく接してくれました。言葉が通じなくて困ったときもあったけど、一緒に過ごしているうちにだんだん慣れてきて、気持ちも通じ合ってきました。ホリベアスクールで授業を受けたら、デンマークの歴史や文化を学んだり、素晴らしい自然を体験したり、デンマークの人々と交流したりと研修の内容は盛りだくさんでした。私はこの研修を通してデンマークが大好きにな

りました。ホストファミリーの方たちと別れるときは本当にさみしかったです。もっとデンマークに居たいなと思いました。この研修は私にとつて意味のあるものになったと思うし、いろんなことを得られたと思います。

一生に二度の体験

杉山 貴紀

僕は二度とできない貴重な体験をさせてもらいました。

出発の日、名前も顔も知らない人と六日間も一緒に生活できるのかと思っていました。しかし、会ってみると、顔も知らない僕たちを快く出迎えてくれ、心配していた会話も日が進むにつれて増えてきました。

一番心に残ったことはレゴランドに行ったことです。ホームステイ先のジョナサンはジェットコースターめぐりをしようと言っていたけれどかなり怖かったので一つだけでやめました。ここでもホームステイ先の人はとても親切で僕たちのことを最優先してくれました。

僕がこのデンマークで学んだ事は、文化の違いや環境の違いだけでなく、人に対する思いやりも学びました。

デンマークの町の環境の様子

丸岡 吉嗣

デンマークについて、まず第一に思ったことは、町並みがきれいだということです。ほとんどの家の屋根が赤色か茶色で飛行機から見下ろした景色が素晴らしかったです。また、市内ではその素晴らしい景色を守るためか環境に力をいれていました。なぜならば市のあちこちにゴミ箱が多数あったから

です。これは多分ポイ捨てをなくすためだと思えます。しかし、残念なことにはぼくらのホームステイ先のディアナランドの町とちがいがコペンハーゲンでは、ゴミ箱があるのにもかかわらずオレンジジュースの空箱などゴミが落ちていました。本当に残念なことです。もし、次デンマークへ行つたときは、落ちていないといいです。デンマークは環境を守るためにいいところ目をつけていました。だから湖北町も同じようにあちこちにゴミ箱をおけばいいなと思います。

デンマーク派遣

上田 雄己

国外派遣は、まずオーストリア・ウィーンからはじまりました。ウィーンはタクシーがベントでもおどろきました。日本と違い右側走行なのですれ違う時あたると思つてビックリしました。2日目の夜からデンマークのディアナランドでホームステイがはじまりました。自分の泊った家の人はとても親切でよかったです。授業体験がはじまるときは、結構緊張したけど結構自由な授業で楽しかった。休み時間には、クラスみんなで外に出てサッカーをやりました。女子もまざつてやるのがさすが本場だなと思いました。デンマークには土のグラウンドは見当たらずすべて芝生、学校のグラウンドもコート三面ほどとれる広さの芝生が広がっていました。

フリーの日にホストファミリーの子たちとプールに出かけました。水深24Mでとっても深かったです。いい体験ができたと思います。



ウィーンのシェーンブルン宮殿



サヨナラパーティーで習字の出しもの



町中にある分別ゴミ箱



サヨナラパーティーでホームステイ先の家族と



授業に参加して



アンデルセン博物館の中にて



老人ホームでの電動車イスの体験



牧草地帯の風力発電

ぼくの思い出

河瀬 拓也

ぼくは、今回の研修を振り返ってみると、とても楽しい思い出ばかりです。特にホームステイ中は、少し緊張したりしていたけれどだんだん家族や、友達などとしやべれるようになって元談なんかを言ったりして盛り上がりたりました。デンマークにホームステイしてみても思ったのは、デンマークの人は、みんな優しく、とても親切な人が多いんだということです。他には、日本とは違った食文化や、福祉の施設などもいろいろ勉強ができてよかったです。

観光地などに行ったときも、その場所についての説明をわかりやすく（英語で）教えてくれたりしていい体験ができた。

デンマークの学校は、とても自由な感じで日本もデンマークみたいだったらしいなと思いました。

デンマークの人達と出会って

横尾 美里

私はデンマークで約六日間という長い間ホームステイをしました。ホームステイをする前は、六日間も言葉の通じないような異国の国で生活するなんて無理だと思っていましたが、日数がたつにつれて緊張もほぐれ、とても楽しく過ごすことができました。

やはり、デンマークと日本は文化や生活習慣の違い、戸惑ったり、わからなかったこともたくさんありました。しかし、ホームステイ先の家族やデンマークの学校の生徒達、みんなとてもやさしくて親切だったので助かりました。

本当に、このホームステイでいろいろな知識を得られたり、物の考え方や見方が変わったりしました。このような、素晴らしい体験ができて本当に良かったです。

最高に楽しかったホームステイ

竹内 麻佑美

海外派遣の中で一番印象に残っていることは、ホームステイ先の家族の人たちがとても優しくしたことです。初めてあった日はなんて声をかければいいのか分からず、ぎこちなかったのが、二日目からは日本の学校の事や家族の話をしてけっこうフレンドリーな感じになって、レゴランドでは自分の言いたい事も大体伝えられるようになったけれど、何を言われたのか分からないときもあり、何度も言ってくれたり紙に書いたり動作で表してくれたりしてくれてとても親切な人達でした。食事も日本食をつくってくれたりすごく細かいところまで気を使ってもらえてとてもうれしかったです。今回、海外派遣に行かせてもらえて本当に良かったです。デンマークの人達はみんなとても優しくて、別れるのがすごくつらかったです。

楽しいデンマーク

松井 愛由佳

この研修を振り返ってみるといろいろな体験ができました。初めてのホームステイは緊張したけど、ホームステイの友達と仲良くできたし、家族の人達もやさしくしてくださったおかげで、うまくホームステイができました。最初は、なかなか英語が話せなくて困りました。しかし、最後へんは、英

語とデンマーク語が自然に口から出るようになりました。また、ホームステイの友達とレゴランドに行ったりはとっても楽しかったです。レゴは大好きなのでうれしかったです、チボリ公園でも乗り物をいっぱい乗ってはしゃぎまわりました。デンマークの歴史はいっぱい、有名なアンデルセンのことをたくさん知れたので良かったです。クリスマスチャン四世も有名な人で、いろいろその人の建てたものもみました。楽しくいい経験ができたと思います。

デンマークの思い出

杉田 夏樹

デンマークの派遣学習で、一番に残った思い出は、ホリベアスクールでの授業体験です。ホリベアスクールは、とても広い敷地があり部屋数も、約六十室くらいあるそうです。僕たちの入ったクラスを見て思ったことは、日本の学校とはまったく雰囲気が違うということです。数学の授業では、一つの課題を数人で考えて解くというもので、楽しかったけれどとても難しかったです。

問題がよく解らないとき、近くの席の友達がいろいろと教えてくれ、休み時間もたくさんさんの友達とあやふやな英語でもコミュニケーションをとることができ、とてもよかったです。

この派遣学習を通じて、デンマークの文化や社会を肌で学ぶことができたと思います。また、とても親切にしてくださいました。ホストファミリーの人達や学校の友達のおかげで、とても楽しい時を過ごせました。この学習で学んだことは、一生忘れないと思います。

デンマークに学ぶ…2 循環型社会の姿

株式会社イースクエア代表取締役

ピーター デイヴィッド ピーダーセン

私は、1967年デンマーク生まれ、1984年に高校留学生として初来日したのをきっかけに、合計14年ほど日本で暮らしています。日本が、世界に誇れる将来展望のもと、循環型社会のあるべき姿を示すことを願い、現在日本の企業や行政機関のサポートをしつつ、その夢の実現に向け仕事に取り組んでいます。

米国が資源浪費国、国際競争主義を展開するなか、日本こそが、「身を持って」持続可能な社会のあるべき姿を示すべきだと思うのですが、残念ながらいまの日本には「三つの怪獣」が本質的な変革を妨げ、行動は充分伴っていません。この三つの怪獣に関しては、文末に触れるとして、まずは、たまたま歴史の流れのなかで「環境先進国」となったデンマークについてご紹介したいと思います。特に、風力発電の発展と有機農業の普及に代表される「環境成長戦略」を取り上げていきます。

デンマーク、なぜ「環境」をキーワードに？

デンマークは、北欧5カ国（デンマーク、スウェーデン、ノルウェー、フィンランド、アイスランド）のなかの一カ国。人口は、500万人強（日本の25分の1）、面積は約43,000平方キロメートル（日本の9分の1）。女性議員の比率は、スウェーデンやアフリカのルワンダに次ぐ世界3番めに高く、38%となっています。所得税は、45%後から始まり、消費税は何と25%と世界最高水準。その代わり、学費は大学も無料（学生は、生活手当として約

月8万円受け取れます）、医療費も無料となっています。高い税負担にも関わらず、ほとんどのデンマーク人はこの福祉国家のあり方に満足しているようです。将来不安は少なく、「塾・予備校」や「生命保険」というビジネスが栄えない国です。

無論、デンマークにも多数の社会問題があります。多数移民してきた中東の方々に対する不信（「デンマークの福祉を奪いに来ただけではないか!」）が募り、変な形の人種差別が人口の一部に広がっています。また、自殺者も多く、「自由の重荷」に耐え切れない多くの方が自分の手で命を落としています。

近頃、デンマークで栄えている2つのビジネスは、ここ30年のデンマークの進路を象徴しています。一つは、自然エネルギー、特に風力発電の発展。もう一つは有機農業と有機農作物の販売拡大です。もう少し詳しく取り上げてみましょう。

風力発電物語

風力発電は、ほぼ私と同じ年代に成長しました。5歳の頃（1972年）、当時住んでいた農場に、最初の風車が建てられたことは、いまでも鮮明に覚えています。発電容量が少なく、近代型の風力発電機と異なり、多数の小さな羽が着いていました。1970年代初頭は、自然エネルギーの可能性を信じていた一部のパイオニアたちによって、最初は経済性度外視で風力発電が根付き始めました。

そして、1978年に、デンマーク

のエネルギーの未来を決定付ける出来事が起きました。政府やエネルギー業界が、「原子力発電の導入」を促進するなか（デンマークに原子力発電はありませんでした）、市民は「原子力なんて要らない、あれほど危険で無責任なエネルギーはごめんだ！」と反対運動を展開していました。私の父親も、その反対運動の中心人物の一人でした。1978年8月には、デンマーク4箇所それぞれ1万人前後の原子力反対デモ行進が行われ、私は10歳ながら、旗を振り、歌を謳い、闘志を燃やしながら30キロメートル歩きました。大きな地方都市と首都コペンハーゲンに総勢20万人前後の人々がデモ行進のあとに集い、政府に対する反対を表明していました。

「これだけ民衆が騒ぐとヤバイ」と政府が思ったのか、原子力発電を導入する決議は、まず延期されました。そして翌1979年に、米国でスリーマイルアイランドの原発事故が発生し、もはや原子力推進を本気で論じる人はいなくなっていました。自然エネルギーは、原子力推進を本気で論じた瞬間は、市民の声によってもたらされました。

原子力導入を見送った政府は、今度は自然エネルギーの促進のための枠組み作りを急ぎました。風力発電機や太陽発電パネルへの補助金はもちろん、1990年ごろには、自然エネルギーの買い付け義務を法律として定めました。電力会社は、必ず自然エネルギーによって発電された電気を一定の価格（しかも、それは魅力的な価格設定）で、買わなければならないという法律でした。ドイツなどでもほぼ同時に

似た法律が導入され、自然エネルギー発展のための火付け役となりました。デンマークでは、いま、「田園風景」に「風車」はつき物です。農家が風力発電機を畑に建て、その周りで牛が放牧されている姿をよく見かけます。それは、確実に発生した電気が売電できるため、何年で投資回収ができるかを正確に見極めることができるからです。そして、この制度によってやがて風車発電農家にとっての大切な副収入へとなっています。

現在、デンマークでは電力の20%以上を風力発電で賄っています。国家としては世界一の比率です。風力発電機輸出の世界市場も、ドイツやスペインのメーカーが健闘しているものの、小国デンマークのメーカーが50%前後のマーケットシェアを保持しています。風力発電機の輸出は、何と国の第二の輸出産業にまで成長しました（二位は、船舶関連です）。ベスタス・ウィンドシステムズという、「風力発電ベンチャー」として始動した会社は、いまやデンマークの模範的企業となり、日本の規模に例えると三菱電機やシャープのようなリーディング・カンパニーになっています。市民の意志、そして法律の整備が可能にした「ちょっとした」物語」です。

有機農業の発展

デンマークは、「農業国」というイメージが強いでしょう。特にチーズやヨーグルトなどの酪農が代表的なイメージだと思えます。実際は、いま農業で働いている人々は、人口のわずか3%

しかいません。しかし、国土をみると、栽培可能な面積は全体の約63%と、世界でも稀にみる高い比率です。
農業の世界でも、自然エネルギーとほぼ同じ時期に、同じ原動力をもとに、大きな変革がおきています。

デンマークは「農業の国」？

面積の63%、270万ヘクタールが栽培されている（世界で最も高いパーセンテージの一つ）。酪農、大麦・小麦・ライ麦・オーツが主たる作物。
農業で働いているのは、労働人口の3%に過ぎない。
約58,000の農場（20世紀初頭は20万）、平均の栽培面積は46ヘクタールとやや大型。

有機農業の発展は大きく4つの時代に分けることができます。

(1) 1960～1980

オーガニック・パイオニアの台頭
風力発電と同様に、有機農業の価値をひたすら信じた開拓者がいました。農業付けの従来農業は、自然にも、人間にも悪いと主張した彼らは、市場がほとんどないなかで、自らの信念で有機農業を始めました。

(2) 1981～1986

限定的消費の時代

欧州、そしてデンマークに強く芽生えていた「グリーン政治」や「グリーン消費」の運動が手伝って、少しずつ有機農作物を購入する生活者が増えました。しかし、まだまだごく一部の人がでした。

(3) 1987～1992

マスコミと政治家の後押しにより発展経路に

1980年代に、デンマークの内海で魚が大量に死にます。原因は、農業から流される肥料によるプランクトンなどの異常発生、海のなかでの酸欠によるものと断定されました。同時期に、飲料水に窒素が多く検出され、これも農業の肥料使用からきていたとされ、メディアや政治の世界を騒がせました。そのときから、メディアは積極的に有機農業を取り上げるようになり政治家も「風向き」を感じて、1987年に、世界ではじめて有機農業を包括的な形で促進するための法律を施行しました。かなり厳しい基準で「有機農業」が定義され、市民から見ても安心できる仕組みができました。メディアのスポットライトと法律の整備で、次のフェーズの基礎条件が揃いました。

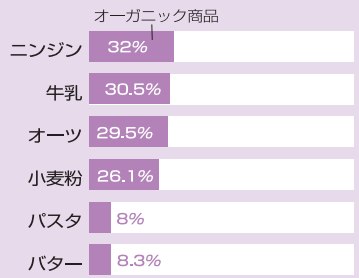
(4) 1993～2004

オーガニック・コマースナル・ブレイクスルー

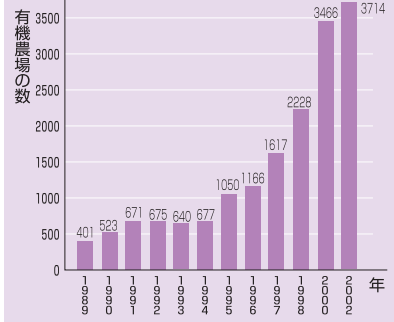
小売大手も法律の整備と明らかに関心が高まっている市民の意図を汲み取るかのように積極的に有機農作物を店舗で展開し、価格を大きく引き下げました。これが、有機のブレイクスルーをもたらしました。

いまとなつては、品物・作物によって、驚くばかりのマーケットシェアが有機栽培によるものとなっています。牛乳、オーツを筆頭に、20～30%のマーケットシェアを占める品もあります。

【オーガニック（有機）商品の割合】
2002 SUPERBRUGSEN (大手スーパーマーケット)



【デンマークにおける有機農場の数】



※参考：法律の整備（1987年）と市場の確立を受け、有機農場が大幅に数を伸ばしています。

「環境成長戦略」への道筋と妨げ

デンマークは、このように「バイオニアの勇氣」+「市民の価値観」+「法律・制度の整備」という三つの要因を背景に、新しい環境産業が育ちつつあります。私は、このような成長を「環境成長」と呼んでおり、日本にもいまま必要な経済政策は「環境成長戦略」だと確信しております。従来のものより環境負荷が低いというだけではなく、

【デンマークの有機農業発展の経緯】

- 1981 Danish Association of Organic Farming 設立
- 1982 ユトランド半島で、最初の Danish Organic Agricultural College 設立
- 1985 最初のオーガニック農業助言サービス開始
- 1987 デンマーク議会は、世界で初めてオーガニック農業促進のための包括的な法案を可決する。国の検査と認証スキームが始まる
- 1988 小さな農場で、最初の「オーガニック・ミルク」が販売向けに生産される
- 1990 オーガニック農業促進のための全国キャンペーン展開。国家認定ラベル導入、統一的な基準と生活者にとつての安心感
- 1993 COOP デンマークが、価格を15～20%下げる、オーガニックブーム始まる
- 1993 オーガニック農業への転換のための経済的支援が導入される。1993年は、市場性を伴った「オーガニック・マーケット元年」法規制の導入から6年。
- 1995 農務食糧省が、2000年に向けた包括的な「アクション・プランI」を策定
- 1999 Center for Organic Agriculture の設立で、様々な団体の協力を強化。「アクション・プランII」の策定

新しい価値を生み出す環境産業を積極的に推進し、企業、地方、国の基本戦略にすべきだと思っております。
しかし、悲しいかな、日本にはこのような本質的な変化を妨げる三つの怪物が存在しています。
一つめは、「キトクケン」こと既得権益の恐ろしさ。特にエネルギーと農業の世界において強い怪物であり、とにかく自分の権利と利益を死守します。二つ目の怪物は「コテイカン」こと固定観念のしぶとさ。前例主義に捕らわ

れ、「新しいこと＝リスク」とされていく中で、本質的な変革はなかなか花を咲かせません。新しいイニシアチブが途中で座礁するケースがあまりに多い。そして、三つめの怪物は（かなり情けないヤツだが）「ジャクムリキ（弱夢力）」
夢を見る力の弱さです。つまり、未来展望を描いて、その未来展望に向かって行動するというところ人々の行動の源泉であるはずですが、日本には魅力的な未来展望を描くいわゆる指導者はあまりに少ないという現状です。
この三つの怪物に立ち向かわずして、日本が「身を持って」世界の模範となる循環型社会には成り得ません。滋賀県のような先進県でも、全く取り組みが足りません。ビジョンが貧弱で勇気不十分。もつと、将来世代のことを真剣に考え、より美しい国をどうつくるのか、くだらない既得権益をどう脱ぎ捨てるのかを、声をあげて議論したいものです。



Peter Das Peur

ピーター デイヴィッド・ピーターセン
●1967年 デンマーク生まれ。コペンハーゲン大学文化人類学部卒業。1984年初来日、宇都宮高等学校で勉学。2002年鈴木俊一環境省の私的懇談会「環境と経済活動に関する懇談会」委員を務める。著書「環境経営戦略辞典」(2003年産業調査会)など多数

未来への示唆 循環型社会への展望

同志社大学経済学部教授
末永 國紀

循環型社会の道筋を、中学生の目線で見たデンマークの印象―デンマークのコンサルタントから見た日本、と、追いかけてきました。次に、日本の経済学の視点で捉えてみましょう。日本独自の循環型社会像に迫ります。

風景画を得意とした江戸の浮世絵師である安藤広重には、夕立を描いた傑作がある。江戸名所百景のなかの「大橋安宅の夕立」や東海道五十三次の「庄野の白雨」などである。いずれも、夕立を描いてしみじみとした情緒をかもしだしている名作である。

しかし最近では、雨の降り方も変わってきた。夕立、と表現されることはほとんどなく、集中豪雨という災害を連想させるだけの味も素っ気もない呼び方になっている。雨の降り方に、雨情切々たる風情が乏しくなっているのである。地球環境の異変を示す信号の一つであろう。

このような自然現象の変化は、現在の我々の生活が地球環境の許容量を超える水準になってきていることによると受け止めることもできるのである。そうだとすれば、このような地球規模で発生している様々な環境問題を克服し、持続可能な経済発展を続けるためには、循環型社会の実現が不可欠であることは、ここらある人々の共通の理解であろう。

ただ、循環型社会を目指すといっても、その内実は必ずしも一様ではない。技術進歩と産業社会の発展の行き着く先に、どのような循環型社会を描くことができるのか、明るいのか暗いのか、豊かなか貧しいのか。

明確な未来像が浮かんでこないことも、現代社会のストレスの起因や様々な社会病理現象を発生させる遠因となっている。

地球の自然循環システムは、エネルギー源としての太陽光と水の循環システムを基本としていることは常識である。すべての生物と同様にこの自然循環システムのなかにあった人間だけが、迂回生産を手はじめに、物的欲望達成の社会経済システムを作り上げてきたのである。このような社会経済システムを循環型社会に転換する方策はどこにあるのか、何に準拠すれば可能となるのか。現代社会の直面する根本問題といってもよいであろう。

様々な側面から循環型社会実現の可能性が探られている。例えば、経済学の分野では、マクロ経済的なアプローチとミクロ経済的なアプローチを統合して、循環型社会構築への政策を提言しようとする動きも見られ、工学の分野では豊かな自然環境を再生するために、技術開発の苦心が続けられている。

春夏秋冬、その折々に見える日本の水田の風景は、自然環境と人間の開発欲望の見事に合致した、得がたい結晶といえよう。なぜ水田が美しいか。苗、稲、あぜ道、野草、水路など、水田を構成するものが自然の中で生きていくからである。このような先人の遺産を次世代に引き渡していかなければならないという、世代間倫理に基づいた循環型社会の実現は、太古に迂回生産をはじめた人間の欲望を、現代においてどのようにコントロール

ルし得るか否かにかかっている。禁欲への鍵は、我々の自然への想いの強さを支えるために科学技術をいかに応用するかにあるといえよう。

人間の欲望を抑制しようとする営為は、今にはじまったことではない。例えば、時下り高いから商業活動に入った近江商人は、商人でありながら利益についてきわめて禁欲的であった。常に薄い利益で満足することに努め、利益は「天道のめぐみ次第」と心得、取引においても「永世の義」という、人の道を貫くことを基本的な立場とした。利益に対する欲望を抑制するために、子孫に対して信仰を深めることを薦め、家訓を遺したのである。



末永 國紀

すえなが くにとし ● 1943年生れ。
同志社大学経済学部教授。経済学博士。
(財)近江商人郷土館館長。著書「近代近江商人経営史論」(有斐閣)、「近江商人」(中公新書)、「近江商人入門」(サライズ出版)

講演日記

皆様のご支援でたくさんの講演依頼を頂きました。
ダイジェスト版で9月～10月の講演をお知らせします。

- 日 時：2004年9月14日（火）
- 主催者：京都キャリア交流プラザ
- テーマ：「自立する中小企業の仕事探し～見つけよう新しいビジネスモデル～」
- 場 所：京都キャリア交流センター
- 参加者：28名
- 演 者：森 建司
- 内 容：1. 景気は回復するのか 2. これからの時代はどうなるのか 3. 新しい価値観による社会の誕生 4. これからの企業の生きる道（困難を極める企業への職探し） 5. わが社の戦略 6. 循環型社会システム研究所 7. 個人で出来る新事業へ挑戦



- 日 時：2004年9月17日（金）
- 主催者：七尾市商工会議所
- テーマ：「時代の変革を先取りする～循環型社会システム研究所」
- 場 所：新江州e プラザ見学
- 参加者：20名
- 演 者：森 建司
- 内 容：1. 開発の三重構造 2. 循環型社会システム研究所の目的 3. 仕事の内容 4. 新しい時代・事業を築いてゆくにはキーマンが必要

- 日 時：2004年9月24日（金）
- 主催者：エコ村ネットワーク連続セミナー／現代の環境倫理と企業・地域
- テーマ：「循環型社会主義入門～M・O・Hの会運動を通じて」
- 場 所：滋賀県立大学
- 参加者：38名
- 演 者：森 建司

- 内 容：1. 経済至上主義社会は収縮すべきである 2. 「三方よし」理念は大企業に通じない 3. 抑制無き自由主義経済は危険 4. M・O・H運動の主旨



- 日 時：2004年10月1日（金）
- 主催者：（財）滋賀県産業支援プラザ
- テーマ：「よみがえる三方よし経営～滋賀における広がり」
- 場 所：コラボしが21 3階会議室
- 参加者：100名
- 演 者：パネルディスカッション（コーディネーター・森建司、パネリスト・上田弘行氏、國友隆房氏、力石伸夫氏、末永國紀氏）
- 内 容：「現代における「三方よし」経営理念の実践
1. 私にとっての三方よし
2. 三方よしとCSR（企業の社会的責任）を考える 3. 会場とのトーク 4. 三方よし経営実践のための課題



- 日 時：2004年10月15日（金）
- 主催者：滋賀県中小企業家同友会
- テーマ：「いまこそ!! 経営革新～人間力経営が明日を開く」
- 場 所：大津プリンスホテル
- 参加者：370名
- 演 者：基調講演・森 建司

- 内 容：「循環型社会づくりと新事業創造～経済至上主義を超えて」
1. 経済至上主義から環境倫理社会へ 2. 新時代の姿 3. 循環型社会システム研究所 4. 循環型ビジネスとは何か 5. 循環型社会を目指す“M・O・Hの会”

- 日 時：2004年10月23日（土）
- 主催者：日野町大字奥之池区
- テーマ：「循環型社会主義入門～M・O・Hの会運動を通じて」
- 場 所：奥之池会議所
- 参加者：48名
- 演 者：森 建司
- 内 容：1. 自由主義経済がもたらしたもの 2. 大企業と中小零細とは理念が違う 3. 抑制無き自由主義は危険 4. M・O・H運動の趣旨



- 日 時：2004年10月28日（木）
- 主催者：樂修院大学 教養講座第1弾「心の哲学」
- テーマ：「循環型社会主義入門～経済至上主義を超えて」
- 場 所：平和堂守山店4階 樂修院大学
- 参加者：16名
- 演 者：森 建司
- 内 容：1. 経済至上主義から環境倫理社会へ 2. 新時代の姿 3. 循環型社会システム研究所 4. 環境ビジネスとは 5. 循環型社会を目指すM・O・Hの会

環境倫理学が従来の倫理学と異なる点

本田先生の環境倫理学講座
Part.4

本田 裕志

今回は、環境倫理学が従来の倫理学と異なる点は何かについてお話しします。

■方法の違い

高校や大学で「倫理(学)」を習った経験がおありの方は、倫理(学)とは古今東西の思想家や哲学者の説を概観する思想史のような科目だ、という印象をお持ちではないでしょうか。これは従来の倫理学が、「人はいかに生き、行動すべきか」についての筋道を考究するのに、過去の偉大な思想家・哲学者の諸見解を比較・検討し、それぞれの長所と問題点を説明することを通じて、よりすぐれた見解への到達をめざすことを、主たる方法としてきたからです。しかし、「環境問題」という現代特有の問題を前にしての、私たちの生き、行動すべき仕方」を探究する環境倫理学は、環境問題など夢にも知らなかった過去の思想家の見解から、安直に答えを引き出すことはできません。あくまでも環境問題の現実そのものに即し、事実関係を正確に解きほぐしつつ、問題解決につながる「なすべき行動」の原則を明らかにしなければならぬのです。このような方法で現代特有の困難な諸問題に対処する倫理学を「応用倫理学」と言い、環境倫理学以外に、生命操作や先端医療技術にまつわる問題に取組む生命倫理学、コンピュータの発達と高度情報化社会の進展に伴う問題を扱う情報倫理学などの分野があります。

■視野の違い

しかし、環境倫理学と従来の倫理学の最大の違いは、その倫理的視野の範囲です。前々回(第二号)に述べたように、現代社会の常識的道德観は、私たちの行為が他人や社会に及ぼす影響のみを問題とする対人的道德観の限界内に留まっています。そして、常識に対して批判的であるべき倫理学も、従来はほとんどこの限界を踏み越えず、行為の対人的・対社会的側面にのみ注目して、その正邪善悪を論じてきました。これに対して環境倫理学は、行為をその対環境的な影響によっても評価し、「他人や社会のことだけを考えればやってよいと思われる

行為も、環境のことを考えるとやっつけてはいけない場合があり、逆に他人や社会のためにはやらないほうがよい行為も、環境のためにはやらなければならない場合がある」と考える点で、従来の倫理学よりも広い視野に立っていると言えます。

■人間中心主義の環境倫理

けれども、自然環境が人間の生存に不可欠なものである以上、行為が環境に及ぼす影響の善し悪しは、結局は人間に対する影響の善し悪しにつながる、という考え方もありえます。そう考えると、行為の対環境的評価は対人的評価に還元され、環境破壊的行為はまわりまわってすべての人々の迷惑や不利益になるからしてはいけないのだ、ということになります。この考え方に立つ環境倫理は人間中心主義の環境倫理と言われ、「すべての人々」の範囲の捉え方により二つの立場に分れます。

(1) 「すべての人々」とは、現在の地球上に生活する全人類のことだとする立場。これはたとえば、大量消費国のために大量の資源の安価な供給を強いられた資源生産国の環境が疲弊したり、前者の排出したCO₂その他の廃棄物により、それをあまり排出していない国々が、温暖化による海面上昇などの形で被害を受けるといったように、環境破壊が大量消費国とそうでない国々との不公正な関係と一体化して生じていることを問題視し、その是正という意味で環境問題解決の倫理的必要性を主張するものです。この考え方は、血縁・地縁・所属組織・国家などの枠に縛られがちであった従来の対人的道德観の視野を、現存する全人類へと平等に拡大したものです。

(2) 「すべての人々」のうちに、まだ生れていない未来世代の人々をも含める立場。あらゆる環境問題は、その原因の発生と問題自体の発生との間にタイムラグがあり、しかも永続的もしくは不可逆的な結果を伴うため、「大量消費文明の恩恵に浴した現世代が、その必然的結果である資源涸渇や環境破壊の被害を、その原因を作っていない未来世

むだいずむ

© しみず やすお 5



■ 反・人間中心主義の環境倫理

代にツケ回しすること」という性格を含んでいます。(2)の立場はこの点を問題視し、世代間の公正の確保という観点から、環境問題解決の倫理的必要性を主張するもので、「世代間倫理」と呼ばれます。これは対人的道徳観のさらなる拡大版と言えます。

(3) 右のような考え方に対して、環境を損う行為は、たとえそれが全体的・長期的に見て、結局は未来世代を含む全人類に、迷惑や損害よりもむしろ利益をもたらすとしても、人間の利益のために自然の中の人間以外の存在に一方的に不利益と犠牲を強いるという不公正を含んでいるという点で、倫理的に許されないという考え方もあります。このような考え方に立つ環境倫理を反・人間中心主義の環境倫理と言います。地球上に自然のままの姿で生存する諸生物の権利や尊厳、それを尊重すべき人間の義務といった観点から、環境問題解決の倫理的必要性を主張します。この立場は、従来の対人的道徳観の限界を完全に突

破している点で、環境倫理における最もラディカルな立場ということが出来ます。右の三つが環境倫理の主要な立場です。次に、これらの一つ一つをとりあげて検討してみましよう。まず、(2)の世代間倫理から始めましよう。

本田 裕志

ほんた ひろし ● 龍谷大学文学部助教授(専攻 哲学・倫理学)

大人の味を知った日

今関 信子



イラスト：佐々木洋一

私には、六つ違いの姉と弟が二人いる。年が離れているためか、姉とは遊んだ記憶がない。姉は、いつも母の手伝いをしていて気がする。

「ちゃんと手紙書いておかないと、サンタクロース、変なものもつてきちゃうよ。」

その年、十二月に入ってから、私は、弟たちをそそのかして、サンタクロースへ手紙を書いた。すでに、私は、サンタクロースが何者か、どういふ具合にプレゼントが準備されるのが、知っていたのだが、ほしいものが手に入るこのチャンスのために、五年生になっても、幼い子どもを演じていたのである。

クリスマス・イブの夕方、姉に呼ばれた。

「買い物に、いっしょに行つて。」

姉と出かけるのは、初めてだった。電車に乗り、隣の大きなおもちゃ屋に行った。

「たかちゃんと同じ幻灯機つて、どれかしら。あんたなら、わかるでしょ。」

姉の手には、例の手紙があった。おびただしいおもちゃの中に、それはなくて、店員は奥から箱を抱えてきた。

「これよ、たかちゃんと同じよ。」

実は、私が、これをほしかったのだ。

姉は値札をじっと見ていた。その表情が、険しかった。私は、はっとした。私の家が貧しいのは、分かっていた。でも、あの時まで、家計のことなど考えたことはなかった。

「信子、あんた、さくさくか持ってさな。」

私は、貯めたお小遣いを持ってきていた。何かいいものがあったら、買おうと思つて。

「貧乏いねな。足りなごのよ。」

母の財布だけでは足りず、姉は自分の財布のものも加えて、考え込んでいたのだった。母の財布の中身は、父と母の一年間の節約が詰まっている。

私は、財布ごと姉に渡した。幻灯用のフィルムは、一本だけしか買えなかった。

「悪ね。あしがごい。」

姉が、頭を下げた。

「わたし、おもちゃなんかほしくないよ。だって、もう、大人だもの。」

本&映画&イベントの紹介

最近入手した、気になる本や映画やイベントをご紹介します。

映画

「火火」



●主演／田中裕子
●監督／高橋 判明
●内容／信楽在住の陶芸家 神山清子をモデルにした映画。古代穴窯による信楽自然釉を成功させ陶芸界に新風を吹きこんだ、女性陶芸家の草分け。長男賢一氏の白血病を機に骨髄バンク運

思いっきりつま先立ちした私ののを、く〜っと、熱いものがかけ上がった。

あるとき、私は、おとなの味を知った。華やかな光の中で。楽しい音に包まれて。

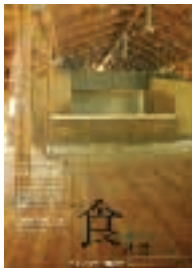
クリスマスの朝、幻灯機が、私たちの枕元にあった。ことしはいそがしくて、これだけになりました。なかよくあそんでください。サンタクロースより」と書かれた手紙がついていた。弟たちのはいそがようすを、私は黙って見ていた。弟たちが、ひどく幼く見えた。大人の味は、複雑だ。華やきの中に、寂しさや悲しさが潜む。やせがまんの不自然さの中に、優しさが漂う。

光が当たれば、陰ができる。幸せは単調ではなく、重なり合いたと思うようになったのは、あの時からだ。

成安造形大学

カフェリアセミナー

「食の再生が地域をつなぐシリーズ」



●対談「食と命〜食文化のゆ〜え〜」

●日時／2004年12月4日(土) 14:00〜16:00

●講師／山崎洋子(NPO 田舎のヒロインネットワー

ク理事長)、岩崎康子(Blueberry Fields 紀伊國屋代表取締役)

●参加費／700円(アフタヌーンセット付き)
●定員／60名

●内容／生命を明日につなげていく食について、いかに農を豊かにしていくかを農の現場に立つ二人の女性が語ります。

●場所／成安造形大学芸術文化交流センター ☎(077) 57412118

本

月刊『MOKU』



●発行人／山口陽一
●発行所／MOKU出版株式会社

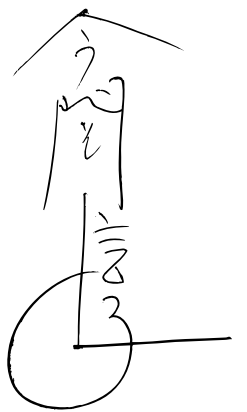
●価格／1800円
●内容／「本気で、真面目に、命懸け」でわれわれの生きる意味を読者の皆様と共に追い求める月刊雑誌。

「環境先進国ドイツ〜環境技術から市民のくらしまで〜」



●発行／大阪・神戸、ドイツ連邦共和国総領事館

●内容／ドイツの環境保護テクノロジと環境ノウハウをわかりやすく解説、紹介されている。ドイツ連邦共和国総領事館発行による冊子。



いませきのふこ ●1942年、東京生まれ。東京保育女子学院卒業後、幼稚園教諭となる。7年間保育者として働いた後、創作活動にはいる。日本児童文学者協会理事。

主な著書／「小犬の裁判はじめます」1987重心社。青少年読書感想文コンクール課題図書

「さよならの日のねすみ花火」1995国土社 青少年読書感想文コンクール課題図書、厚生省中央児童福祉審議会推薦文化財
「地雷の村で」『寺子屋』(くへり)2003 P H P 研究所

など多数

中国・宋の学者朱子が編纂した教科書

「小学」を学ぼう

その3

井上 昌幸

● 読書は深く思いをめぐらすことが肝腎である

若者でいろいろな才能のある者は決して畏れることはありません。何ができるからといって持ち上げることは、青少年の教育に一番悪いのです。

人間の一番の本質的なものは徳性であって、いろいろな知識や技能はその属性であります。読書は深く思いをめぐらすことが肝腎であります。「読書百遍、意自ずから通ず」(本を何回も繰り返し読んでいけば、その内容は自然と理解できるようになる)を心掛けることが大切です。

● 賢を貴ぶ

賢明さを貴んで物欲などを問題にしないようにする。また、父母や目上の人に対して自分なりにその力を尽くし、よく友達と交わり、話す言葉には信頼感があるようにする。こういう人は十分に学問を学んでいなくても実際の生活上では本当に学んだ人といえます。

● 修養すれば態度にあらわれる

劉公という人は客と何時間座って話をしても、身動き一つしなかった。鍛えられた人というのは、どこかに違うところがあります。程明道先生という人は一日中座っていて、ちょうど泥でつくった彫刻

のようであった。そうして人に接するとあたりは和やかな気分に包まれてしまう。まことに春風駘蕩たる人でありました。

● 聖賢の教え

上に立つ人が道において貴ぶところのものが三つあります。まず容貌・態度から粗暴さをなくし、顔色を正して信頼を得て、言葉づかいをキチンとして心がいやしくならないようにすることが大切です。

● 胆大心小・智円行方の哲学

胆識のある大きな実行力を持たねばなりません。そして実行するには綿密な観察をする必要があります。本當の智というものは物を分別すると同時に、物を統一・統合してゆかねばなりません。これが円です。実践する時は相対的関係を正しく処理してゆかねばなりません。

● 先憂後樂

上に立つ者は人々の憂いに先んじて憂え、人々の楽しみに遅れて楽しむべきであります。自分が一所懸命に目的に向かって頑張っても、成る・成らぬということは、必ずしも自分の意思通りにゆくものではありません。ただ人事を尽くして天命を待つほかないのであります。

● 人間の三原則

聖賢の教えは、外に放り出してしまった本来の正しい心を、自分でよく反省し、追及してそうして向上させていく、そして自分は低いところから学んで、そうして上達していくことにあります。

我々人間には三つの原則があります。第一は自己保存ということ。第二は種族の維持・発展ということ。第三には無限の精神的・心理的向上(自己実現の欲求)で、これは人間自然の大原則です。

● 克己復礼

顔淵が己れに克ち礼を復むための手がかりを尋ねた。孔子が言われた、非礼は視てはいけない

目の前の外物に移りすると心が乱れるので精神を安定させることが大切である。

非礼は聴いてはいけない

外界からの邪悪を防いで、正しい判断力を失わないようにすることが大切である。

非礼は言っではいけない

人の動きは言葉によって表現される。軽はずみな物言いをしないようにすれば、内なる心は静かに統一される。

非礼は行っではいけない

行為の正しさを守ることが大切である。道理に従えば余裕を生じ、利欲に従えば危険である。

(非礼視る勿れ、非礼聴く勿れ、非礼

言う勿れ、非礼動く勿れ。この視・聴・言・動の四つは肉体の作用で四つを警めることです。)

「礼」とは全体的な調和であり、「非礼」とは調和がとれてない状態のことです。

人間は常に「自己」として在ると同時に、自己が集まっている全体の「分(部分)」として秩序が成り立っています。これを「分際」と云います。つまり、その場において自分の立場をわきまえることが大切です。

少し理屈っぽくなりますが、自分の存在を「自由」といい、人間は「自由」と同時に「分際」として存在します。これを統一して「自分」といいます。あらゆる「自己」がそれぞれ「分」として、「自分」として、大和していくのです。

(安岡正篤氏著「人間としての成長」PHP文庫を参照)

井上昌幸

いのうえ まさゆき ● 1940年1月1日生まれ。1961年大阪府立大学工業短期大学部卒業。1961年日本電気硝子(株)入社。2000年日本電気硝子(株)定年退職。現在、滋賀県異業種交流連合会副会長、SOEPI(滋賀県シンシアテクニカルエンジニアリングパートナーズ企業組合)専務理事、滋賀県技術アドバイザー、大津木鶏クラブ代表世話人、近江素交会代表世話人
資格 / ISO14000&9000審査員補

野洲市生活学校 家訓づくりから始めよう

あなたの「生き方を決めた一言」が
家庭を変え、社会を変える

講演／循環型社会システム研究所 代表 森 建司

■平成16年9月28日(火)

■野洲市中央公民館

■参加者／24名



「家訓を作りませんか？」突然の問いかけに、参加者は戸惑いました。講演者の「生活者に意識を変えることで世の中は変わります。大事なものは、皆さんの心に残る言葉です。あなたの「生き方をきめた一言です」の呼びかけに応じ熱心に答えてくれました。

●「辛抱、根性、気配り」

… 森建司

●「しまつをしなくても良い。始末をきちんとする」「感謝」

私は新世帯できましたので、とにかく先の事を思うと生活欲が出てきてほしい・ためたい(残したい)・みとめてもらいたい等色々な事を思っていました。病気をしたことでも別に何もなくても良い、今元気に暮らせる、欲さえ出さなくても生活できると考えられるようになってから、ただただ感謝と思える様になった。

… 河村春美 57歳

●「あいさつ(お早う)ございます。行ってきます。ただいま。お休みなさい。有り難う)」

これが、家族の中で普通に言えることが家族の和、絆になって何でも話し合えるような気がする。

「物を大切にやる心掛け」

物が無くなった時などでも一度よく考えて探す、又すぐに買う必要があるか考える、大切なものは直してでも使えるようにする。

… 小林規志子

●「家訓というより自分のことです

が、一人暮らしをしているとやはり健康が一番心配で一日に一度は外に出て歩くとか、だれかに出合いお話しが出来ればと思う。(たとえご挨拶だけでもよいから)テレビを見ていても声を出して笑うことは元気になるそうですので心がけたく思います。

… 竹内晴子 67歳

●私の実家の父が戦友の保証人になり夜逃げされて全部借金が廻つてきたので。祖父母の大事な品が無くなりました。

1. 子供たちには「保証人にはなるな」今までのつき合いに対して、今はこれだけしか用立てないといつて、50万、100万でもカンパするからといって断りなさいと言っています。
2. 子供が悪いことをしてしまっても「どどど言わない」明日まで持ち出さない。
3. 感謝の気持ちをもとう

… 吉田綾子 62歳

●親々子孫への伝達

「家訓 感謝・思いやり・身体をいとう・プラス思考」

… 水野

●「やさしい心、愛情の表現(自分には今出来ない)」

二年前から主人の両親(86歳)と同居することになり、今まで気ままに生活してきたもので、急に今までの家の中が変わり、とまどいはばかり。両親はおかしなところで遠慮してみ

たりで回がかさなるとイライラしたことがあります。この頃は友人達の(親をかかえている方)アドバイス、考え方を聞いて大分楽になって来た頃ですが、まだやさしく接していかないと思う。8月から月2回、友人が力を入れてくれる福祉のお手伝いに行かせてもらっています。年配の方たちがどんなふうにしてほしいのか皆さんに接して学んでいこうと思っています。

… 米野 明美 63歳

●まずは、今日の森会長の笑顔と素晴らしいお話に感謝いたします。

私の父は質素な生活で満足するような性格でしたから、お金もうけは上手ではありませんでした。使うのをへらしてそれこそ辛抱の生活でした。そんな父の口癖が「使い捨ての時代はいつか終わりがくるぞ」でした。高度成長期から世の中は変わってきて、使い捨てではなくリサイクルへと一人一人が頑張らないといけない時代となってきました。やはり今の時代、おじいちゃん、おばあちゃん



と一緒に住む人が少なくなっていることも、子供たちの育ち方に変化が起きてきていると思います。昔から、先祖様の話を聞かしてもらおうと思うと、祖父母からでした。一緒に住んでいると自然のうちに覚えて、耳に残るものだと思います。自分が一日朝から晩まで一生懸命生きていた背景、主人に話して家訓を相談してみたいと思います。私個人は「忍」です。

… 出野 初子 62歳

●我が家の家訓というより生きていく上での信条です。

いたわりの心(すべてのものに対する思いやり)

子供達の小さい頃より我が家では全てのものに対する思いやりの心、やさしさの心を忘れないように聞かせておりました。今は成人して子供の親になっております。息子が小学生の頃「フランダースの犬」を泣きながら読んでいたこと。中学生になったとき、捨てられて弱っている子猫を家につれてきて子猫が死ぬまで泣きながら抱きしめていて、死んだあと庭の片隅に親子で葬ったこと等を思い出し、やさしさの心を持って育ててくれていると思っています。人に対するやさしさが、ひいては人間だけでなく社会や環境に対するやさしさにつながっていくと信じております。

「すべてのものに対する思いやり、いたわりの心」

… 水島 左知子 65歳

循環型社会形成のキーマンは誰か？

循環型社会入門①

森 建司



イラスト：佐々木洋一

社会的に何かを成そうとするときキーマンが求められる。激動の時代に英雄の出現が求められるように。

さて今の時代をどう見るかである。戦後の経済の素晴らしい発展によってわれわれは大変豊かな生活を実現した。極端な物不足時代を経験した世代にとって現代は素晴らしい時代であり、これ以上の幸せは無い。それをどう変えようというのか、その様な考え方は、社会を誤らせる事になるのだ。そんな思いが掠めるほど見方によっては満足すべき現代なのである。

しかし今更論じるまでも無く、浪費型社会は差し迫った環境問題に直面しているし、豊かさゆえに陥った諸課題に対応しかねている状態である。このままではいけないと言う危機感が漸く人々の意識に根付きはじめた。にもかかわらずこの経済至上主義社会を否定するような考え方は、豊かさを否定するものであり、したがってそれは不幸をもたらすものであるとする、所謂保守派が現状では多数を占めていることも否定できない。

つまり現状は経済至上主義の否定派と肯定派とに二分されている。この対立点の原点は何かと言うと、われわれの幸せを現在に於いて捉えるのか、未来に於いて捉えるのかという違いである。現在の生活を維持していくのには、経済至上主義のお陰であり、発生する環境問題は対症療法で回避していけると主張する人たちと、このままの社会体制を続けて行けば、人類の存在そのものすら危ぶまれる事態になるとを想定する人たちに分かれている。

私は企業経営者であり、学問的な思考なり論述は出来ないが、環境問題や資源枯渇の問題、あるいは豊かさがもたらした結果による享楽主義、利那主義の蔓延は将来に大きな禍根を残す。物不足の時代にこそ最善の選択であった自由主義経済体制が、今や本来内部に抱えていた自己矛盾の拡大によって、倒れざるを得なくなっている事を認めざるを得ないとする立場である。しかし今の為政者や経済学、経営学の体制はどうだろうか。依然として現在の経済至上主義を維持する前提での問題点を指摘するに留まっているのではないか。

今の体制を支えているシステムは大量システムである。品質を保証し徹底したコストダウンを行い企業間競争に勝って、占有率競争に勝つことが経営戦略の最大目標であり、そのためには、人も設備もそして資源も「成果」を生み出すものの以外は除くこと。企業の生き残りや高収益こそ社会にとっても「善」であり、その障害に成るものほとんどん切り捨てていく事こそ、優れた経営者の行為であるとする思想が、現在にあっても微塵も揺るがず存在している。

ちよっと一服のコーナー
M・O・Hの窓

▶「八幡堀」



天昇13年(1585)豊臣秀次が八幡山を城築く。その際、琵琶湖と城下をつなぐ交通路として八幡堀がつくられた。戦後、堀は水も流れず汚れ果て、埋め立てが計画されたが市民の熱心な保存運動により再生されることになった。今では船着き場が復元され、遊歩道も整備され市民の憩いの場として、また観光名所として賑わっている。

〈写真・文〉辻村耕司

一方で企業の社会貢献を示すものとして様々な試みがされている。いわゆるISOであり、ゼロエミッションであり、グリーン購入であり、CSRである。それぞれの運動の趣旨は良いことに違いないが、それは企業の製品が生産され、流通され、長期間に亘って使用され、廃棄され消滅していく過程の一部について論じているものであり、肝心のその製品(商品)そのものがもたらす、全体の環境負荷、あるいは市場に比して余りにも大量に供給されていることよっておこる環境負荷、もっと言葉を変えていうと、その製品(商品)が存在することによっておこる環境負荷について、正しく論じられているだろうか。私の知る限りでは残念ながら「たばこ」についての論争以外には、そのようなケースは見当たらないように思われる。

その原因を成すものは何だろうか。「市場原理」と言う立場から市場が求めているものを供給していくのが企業の使命である、という市場

主義経済の当然の結論として片付けられているようである。

ではその市場の存在とは何だろうか。優れた販売促進の技術で、コマーションによって作り出された市場ではないか。百歩譲って仮に消費者が本当にそれを求めているとしても、だからと言って無条件に供給していくことは、果たして「善」であると言い切れるのであろうか。勿論経済は経営者や株主など経営側の利益だけでなく、雇用の責任を果たし、国家の財政を支えている。それだけに環境問題に気付いたからといって即、止める訳にはわからないのはわかるが、少なくとも人類の将来を考へることなく、更なる増産によって市場の占有率を高める事を使命として、汲々と努力している経営者を成功者であるからといって褒め称えるような事をしてはいけないのである。

この環境問題を考へる上で困難な状況を変え得る唯一の手段がある。暴力によって革命を起こすなどの手荒な事ではなく、相手に考え対策を打つための時間を充分に与えつつ改革を断行する唯一の方法である。

それは経済の存在を決定付けている「消費者」の意識と行動の問題である。消費者は言うまでも無く、職場に於いては企業人であり官吏である。と同時に「生活者」として一家を切り盛りしている、この課題における最高の意思決定者である。この「生活者」が地球の未来に危機感を持ち、改革への行動を起こすならば、社会は革命的に変わるのに間違いは無い。「買ひ物は世界を変える」と言う考え方は正に正論である。決して「コマーションが世界を変える」のではない。

ただ「生活者」が意識を変えるためには、それだけの情報的提供に提供され、危機感が共有されていくプロセスが用意されなければ成らない。いまやその運動をする市民の人は日に日に増えてきている。このことを為政者や、経済界、学界、マスコミなど社会のリーダーを自認する人たちにもぜひとも認識してほしい。そしてその意識が社会を変えたあと、どのような循環型社会を構築していくべきかを真剣に考へていかなければ成らない時が来ているのだ。

「循環型社会形成のキーマン」は、
指さして云う それはあなた自身だ!

滋賀建司

もり けんじ ● 1936年、滋賀生まれ。滋賀県立長浜北高校卒業。新江州(株)代表取締役会長。滋賀経済同友会特別幹事、滋賀経済産業協会副会長、滋賀県教育委員会委員など
著書/吃音はなぬる 遊タイム出版

☆あなたも「家訓10か条」を作ってみませんか？

家族で守る事、忘れない事、挑戦する事、心がける事などなど一度、考えてみてください。父と母とお子さんとおじいさんとおばあさんと忘れかけてる何かが見えてくるかもしれません。新しい時代を素敵な環境にするため、トライしてみてください。家族でも、グループでも構いません。一度、事務局まで、ご連絡ください。ご相談いたしましょう。

☆「環境倫理経営理念」にチャレンジしてみませんか？

世代交代&時代の変革についていけず、経営方針にお悩みのかた、また、未来型企业にむけて変革をお考えの方「環境倫理経営理念」にチャレンジしてみたいかですか？こちらもお申し出下さい。担当者が伺います。実験的な試みに挑戦してください。

●問い合わせ先は、下記「M・O・Hの会事務局」まで

《2005年2月号予告》

2005年1月末発行予定

- 特集：原点を見直そう、「食・住・廃」
- 連載：作家 今関 信子さん
- 連載：龍谷大学 助教授 本田 裕志氏
- 連載：「循環型社会入門②」森 建司氏
- 連載：「小学の教え」井上 昌幸氏
- 挿絵：佐々木 洋一氏
- 漫画：しみず やすお氏
- 写真：辻村 耕司氏

「編集後記」

「生は死を目指す」と言う言葉がある。これは大変厳しい言葉であるが、現実であるからには了とせざるを得ない。今を一生懸命生きること、死を受け入れる事と絶対矛盾をそのまま飲み込んでいく事。そこに永遠の循環があるのである。…「建」

へM・O・H通信ホームページ「ラム」をいただいた。皆様ののおかげでなんと1年6冊を発行できそうです。これを機に著者と読者を交えた、トークバトルと交流会などを催したい。実行委員に名乗りを上げてくださる方を募集中です。連絡は辻村まで：「夢」

《M・O・Hの会》入会受付中！

あなたも「M・O・Hの会」に入会なさいませんか。年会費3,000円で、会員になれます。会員特典として、M・O・H通信、会員交流会、講演会のご案内をいたします。ご近所お誘い合わせの上、ご入会ください。活動やこの通信についての、ご意見もお聞かせください。

あなたのお名前、年齢、郵便番号、住所、電話番号、fax(あれば)、e-mailアドレス(あれば)、あなたの心に残った一言をご記入の上、お申し込みください。通信をお送りします。申込書をfax、郵送、mailでお送りください。

キリトリ線

《M・O・Hの会》入会申込書

フリガナ		年齢	
お名前			
住所	〒		
電話		FAX	
メールアドレス			
あなたの心に残った一言を書いてください。			

「循環型社会を目指す～M・O・Hの会～」の発足に当たって

代表 森 建司

20世紀型社会は経済至上主義の時代であった。科学技術の進歩とそれに伴う工業や流通の発展は、世界的なスケールで人々に物による恩恵をもたらしたが、同時にバランスのとれた自然との共生社会を破壊した。経済至上主義とは物の豊かさを最高の幸せとして捉え、その対極にあるものの価値をほとんど消し去ろうとするものである。人々の価値観を情報操作で画一化して、特定のものに集中させようとするマーケット戦略は個人の人生観、社会観にまで侵入し、その独自性、不可侵性まで奪って行った。このことによって人々は哲学的な意味の自己をなくしてしまった。

今こそ新しい時代として循環型社会を作ろうとしているわれわれは、自己を証明する、こころとか思いを取り戻さなければならない。死生観とか人生観、先祖とか子孫、生涯をかける志、自己を自己らしく生き抜くための人生哲学など。そしてそれは自然との共生社会を目指すものであり、人としての真の生き様を問うものであらねばならない。

この実現のために

「循環型社会を目指す～M・O・Hの会～」を設立する。

M・O・H通信 Vol.4(通巻5号)

2004年11月30日発行

●編集・発行/循環型社会システム研究所 M・O・Hの会

M・O・Hの会事務局

循環型社会システム研究所(新江州(株)内)

代表 森 建司

編集長 辻村 琴実

〒526-0111 滋賀県東浅井郡びわ町川道759-3

TEL.0749-72-5277 FAX.0749-72-8681

email: tsujimura@shingoshu.co.jp

[入会費振込先]

M・O・Hの会 代表 森 建司

●滋賀銀行 長浜支店 817 普通 136987

●長浜信用金庫 本店 002 普通 0577468

●びわこ銀行 長浜支店 421 普通 721691